



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薮町長屋1963

(株)エホリューション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>



今年もあと数日で新年にバトンタッチです。昨年に引き続き連日、コロナ感染の話題で終始した年でありましたが、最後に嬉しいニュースがありました。当組織の団体会員である「三重県障がい者就農促進協議会(中野和代理事長)」が、農林水産省が実施する優れた地域活性化の取組を全国に発信する「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」のグランプリを受賞されたのです。

これまで、地道に取り組んでこられた活動が認められたものと思います。
誰ひとり取り残さない社会づくりを目指し、ますます県内での横展開がなされることが望まれます。



三重県障がい者就農促進協議会は、農業ジョブトレーナーを活用して、障がい者の就労体験をコーディネートし、安定した雇用につなげています。さらに、これらの取り組みを積極的に情報発信することで、障がい者雇用への理解を広げ、障がい者が生き生きと働ける地域社会の実現を目指しています。



中小企業診断士
三輪時弘理事

最近、SDGS と共に注目を集めているキーワードに「ESG 経営」があります。ESG とは、Environment(環境)・Social(社会)・Governance(ガバナンス)の頭文字から作られた造語で、ESG 経営とは環境、社会、管理体制を意識した経営を行うことです。昨今、大企業では ESG 経営は当たり前と言われていますが、この流れは中小企業、小規模事業者にも波及していくと思われます。新聞記事等でも「ESG」を目にする機会も多くなり、今回は ESG 経営とは何か、取り組むことでのメリットや SDGS、CSR とも似ているのでその違いについてご紹介します。

なぜ ESG 経営が注目されるのか？

「産業革命」以来、社会は科学技術の進歩を背景に大きな発展を遂げてきました。技術革新で、大量生産・大量消費が可能になったことで、先進国をはじめ世界中の企業は利益を追求しすぎたため、環境汚染や労働問題など看過できないマイナスの影響をもたらしています。

このような状況に危機感を覚え、国連が 2006 年に発表した「責任投資原則(PRI)」のなかで投資判断の新たな観点として紹介されたことをきっかけに世界中に広まっています。

世界各国の機関投資家に対して「ESG」を考慮した投資を促すことで、投資対象とし投資家から評価されるように各社が ESG 経営に取り組むようになりました。



ESG 経営とは何か？(「環境(Environment)」、「社会(Social)」、「企業統治ガバナンス(Governance)」)

ESG 経営は環境、社会、管理体制を意識した経営を各社が自社の経営環境を考慮して取り組むことで、何をしなければならないという強制的なものではありません。この点は SDGS の取り組みとも似ています。以下では各要素の取り組み内容をご紹介します。

■環境保護への取り組み

企業活動によって生じる環境負荷には大気や土壌、水源、生態系、人体の健康に悪影響を及ぼす可能性があり、これらに配慮する対策には次のようなものがあります。

- ・再生エネルギー
- ・温室効果ガス削減
- ・廃プラスチックの削減

■社会的貢献

企業活動は、社会の広範囲に影響を与えます。そのため労働環境改善、人権の保護、地域社会への貢献、コンプライアンス遵守など多様な社会からの要請に応えなくてはなりません。社会的貢献の取り組みには次のようなものがあります。

- ・賃金や労働時間などの労働条件
- ・各種ハラスメントなどのコンプライアンス問題
- ・従業員の評価や待遇
- ・商品、サービスで地域貢献
- ・育児休業取得の推進などの福利厚生
- ・地域活動への参加
- ・ダイバーシティ(多様性)や男女間格差



■企業統治

企業が事業を健全に運営し、法令を遵守するための管理体制が企業統治です。企業統治を強化する取り組みには次のようなものがあります。

- ・情報セキュリティ対策強化
- ・BCP(事業継続計画)対策推進
- ・企業情報の開示

ESG 経営に取り組むメリットは？

■企業イメージの向上

・ESG 経営に取り組むと企業イメージの向上にもつながります。その理由として ESG の認知度は高まっていて、環境問題や人権問題、労働問題に関心を持つ消費者や投資家、金融機関が増えていることがあげられます。例えば、スターバックスコーヒーはいち早くプラスチックストローから紙ストローに切り替えたことが評価され企業イメージの向上につながりました。



■資金調達しやすい

・ESG 経営は投資判断のひとつになりつつあります。従来は財務諸表を見て投資判断をしていたが、投資家の目線も ESG 経営をしているかが判断基準に加わっています。ESG 経営を意識していない企業は長期的に見たら利益を出せなくなると判断されるためです。そのため、ESG 経営の取り組みが評価されれば金融機関からの評価も上がります。

三井住友銀行(日経新聞:2021年5月13日記事)

- ・ 邦銀として初めて、取引先の CO2 排出量を把握し、削減に向けた目標を定めると公表
- ・ 石油やガス、電力など CO2 排出量の多い業種から始め順次、対象を広げる。
- ・ 石炭火力発電所への新規融資をやめる。



■企業リスクの軽減

・ESG 経営によって、環境、社会、企業統治にまつわるリスクを軽減できます。例えば、企業の生産活動で環境汚染を引き起こせば、地域社会や消費者からの信用を失い、売上低下につながります。情報流出も消費者や顧客からの信用を失うこととなります。また、労働環境が劣悪な場合は生産性が低下したり、ブラック企業と批判されることとなります。

■人材確保・働きやすい環境整備につながる

・ESG 経営では、従業員にとって働きやすい配慮がされているかも評価の対象となるので、ESG 経営に取り組む労働環境が良い職場と判断されれば優秀な人材を確保しやすくなります。また、ESG 経営は、人権問題やハラスメントを許さないという信念で運営されているので、従業員ひとりひとりの意識が高まり、結果働きやすい環境ができていきます。

SDGsとの違いは？

・SDGS は既にご存じのように持続可能な開発目標として 2015 年の国連で採択された国際的な目標です。その実現に向けた環境、経済、社会について世界全体の目標が定められています。ESG は企業が主体となり達成することであるのに対して、SDGS は世界で目指すべき姿が示されている点が異なります。とはいえ ESG と SDGS には共通した項目が多数あり、SDGS 達成を目指して ESG 経営を行っている企業も多いと言えます。

CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)との違いは？

・SDGS や ESG と言われる言葉が注目される前、一時期 CSR(企業の社会的責任)というキーワードが注目を浴びていました。企業の活動をステークホルダーである利害関係者へアピールする点は ESG と同じですが、ESG で意識される投資家からの判断の視点は CSR では意識されていませんでした。

企業の社会貢献活動には本業以外の活動で限界があり規模や推進力、持続性の点でグローバルな社会問題を解決できるだけの力をもっていないという現実がありました。

そこで企業の経済価値と市民社会の社会価値の両立を図る共通価値の創造の考え方 CSV(Creating Shared Value:共通価値創造)が出てきました。

つまり、企業が本業のビジネスを通して利益を出しながら、社会の問題を解決することを目指すことで経済価値と社会価値の両立をゴールとし、それを持続可能なものにすることが現在のサステナビリティの時代に求められているものです。

まとめ

企業活動には環境や社会へ与える影響が大きいという意識や、さまざまな社会問題解決への取り組みが求められています。一方で、市場や投資家、金融機関からの判断基準として ESG の考え方が浸透していることから ESG の視点での事業活動は歓迎されるため、確実性が高い指標ができたことは企業にとってビジネスチャンスになると言えます。

ESG 経営を「社会貢献」としての枠組みとしてとらえるのではなく、経営戦略の一環として利益に結びつけることで持続可能な取り組みになります。

昨今のコロナ禍で事業の再構築が求められる事業者の方も多いと思われそうですが、ESG の視点での事業構築は長期的には消費者に支持され会社の利益に貢献できる取り組みになると思います。

